

市民活動推進事業に対するコメント概要

| | | | | | | |
|------------------|--|--|------|---------|--------|---------|
| 事業名 | しまなみ地域のコミュニティの活性化と地域リーダーの育成□ | | | | | |
| 実施団体名 | 瀬戸内しまのわユース | | | | | |
| 事業概要 | <p>【事業目的】 しまなみ地域で活動している地元の若者や、近年しまなみ地域に移住され活動している方との交流機会を作り、今後のしまなみに地域のリーダーとなれる人材を発掘・育成していけるグループを形成する。</p> <p>【事業内容】 「しまなみす〜ぷ」、12月18日、1月15日の2回開催。 地元民・移住者による活動内容や経歴などの講話（現地参加・オンライン配信）・交流会</p> | | | | | |
| 事業の発展性 | 今年度の事業を実施して交流によりできた繋がりを元に、継続的な情報交換の場を、オンラインで企画する。 | | | | | |
| 補助額 | 市補助額 | 286,000 | 総事業額 | 434,339 | 補助対象経費 | 409,339 |
| コ メ ン ト | 実施団体 | <p><事業を実施しての効果> しまなみ地域で活動している方から、それぞれの活動内容や経歴を聞く機会。登壇者と、参加者の交流する機会を提供する事により、今まで近くにいながら知らなかった方達が繋がり、地域問題やしまなみ地域の可能性を共有できるようになる。地元民と移住者が繋がる事により、チーム力や地域力全体の向上に繋がる事が期待できる。</p> <p><事業を実施しての問題点> 集客。 コロナ下での、開催の為、リアル開催時の人数の調整。登壇者の、調整。 開催場所の選定に、苦戦した。</p> <p><問題点に対する解決策> 集客は、チラシと、SNSにて周知を図った。 今治市各支所をはじめ、支援団体様に配布を協力頂いた。会場の選定は、しまなみ振興局に協力頂いた。 登壇者の変更対応には、登壇者・運営側で連携・調整し、滞り無く、会を開催することが出来た。</p> | | | | |
| | 市民活動推進委員 | <p>(1) 公益性 ・公益性はある。 ・人の輪が広がり、島しょ部の活性化に波及することが望まれる。波及にどうつなげていくのがこれからの課題である。 ・ハイブリット開催としたことで、多くの参加者を募ることができた。</p> <p>(2) 自発性 ・今後の人材発掘や育成にむけた熱意が感じられた。</p> <p>(3) 費用対効果及び継続性 ・今回の取り組みで実績が出来た。報告にもあったように補助金がなくても成立しうる内容であり、費用も工夫して低く抑えられていた。今後もなるべくお金をかけず、継続して事業が行えると思うので、今後に期待したい。</p> <p>(4) 団体の評価 ・若い人たちにつないでいくという意識の高さがうかがえた。</p> <p>(5) 事業の効果 ・オンライン配信を行うなど、多くの人の参加が得られるような手段を取り入れている。地元の方たちと移住者の方たちとの交流を継続して効果・成果を出し、地域力向上につなげて欲しい。 ・今回の事業で一定の効果があったと思われる。今後の活動についても、費用をかけずということを検討しており、継続性の高さを感じた。</p> | | | | |

市民活動推進事業に対するコメント概要

| | |
|-------|------------------------------|
| 事業名 | しまなみ地域のコミュニティの活性化と地域リーダーの育成□ |
| 実施団体名 | 瀬戸内しまのわユース |
| | |

市民活動推進事業に対するコメント概要

| | | |
|------------------|--------------------------------------|--|
| 事業名 | しまなみ地域のコミュニティの活性化と地域リーダーの育成□ | |
| 実施団体名 | 瀬戸内しまのわユース | |
| コ メ ン ト | 市 民 活 動 推 進 委 員 | <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者が増えており、地域住民との連携がはかられ、人の和が広がること、またしまなみ地域の可能性の活性化を期待する。女性のリーダーも育成して欲しい。 ・島しょ部の人繋がり、交流が生まれたとあるが、具体的にどんな成果に結びついたのか。地域にあるまだ見ぬ可能性を掘りおこすための交流の場として継続し、しまなみの魅力を発信して欲しい。 ・地域リーダーの育成は、これからのニーズにそったものだと思われ、今後の活躍に期待する。今回オンライン配信に予算を使っていたが、その効果をアップさせるため、発表者が言っていたように、様々な団体への周知に力を入れると、更なるマッチングが期待できる。 |